

【コーナー展示】

「やまぐち花巡り～大切にしたいやまぐちの自然～」の概要報告

杉 江 喜 寿

**The summary of corner display “A tour of flower in YAMAGUCHI,
want to keep cherishing nature of YAMAGUCHI”**

Yoshihisa SUGIE

山口県立山口博物館研究報告

第44号(2018年3月)別刷

Reprinted from

BULLETIN OF THE YAMAGUCHI MUSEUM

No.44(March 2018)

【コーナー展示】

「やまぐち花巡り～大切にしたいやまぐちの自然～」の概要報告

杉江 喜寿¹⁾

The summary of corner display “A tour of flower in YAMAGUCHI,
want to keep cherishing nature of YAMAGUCHI”

Yoshihisa SUGIE

1 はじめに

当館は山口県立の総合博物館であり、天文・地学・植物・動物・考古・歴史・理工の7分野を有する全国的にも珍しい博物館である。それらの7分野の中でも植物分野は比較的展示内容が地味で静的なこともあって展示に興味をもたれにくく、全国の植物担当学芸員からも植物分野の魅せる展示が難しいという話を耳にすることが多い。

本稿では、こうした状況をふまえて少しでも自然や植物に興味をもってもらうために試行錯誤を重ねている常設展示とは別に、特別に実施した2017年度の植物分野コーナー展示について報告する。

当館の展示は、規模の大きなものから特別展、テーマ展、コーナー展示となっており、コーナー展示が一番規模が小さな展示である。そのためコーナー展示には特別な予算がなく、年間ポスター・チラシや館外の大型看板に掲載されることもないのが実情である。

しかし、狭い常設展示室では表現できにくい内容が展示できる数少ない機会であることに変わりはなく、この機会をとらえて、自然や山口県の植物にいかに関心をもってもらえるか、そしていかに当館に興味をもってもらえるかという観点で取り組んだ。

そのため、植物の中でも比較的興味をもたれやすい「花」について特集し、そして「花」の中でも特に山口県の貴重な野生植物の花を紹介することで、植物に興味をもつことから山口県の自然の豊かさに気付くとともに、自然を大切にすることにも関心をもってもらえるようにしたものである。

2 展示時期・場所

- (1) 期間 平成29年9月13日(水)～10月1日(日)
- (2) 場所 3階展示室(旧講堂南側)

1) 山口県立山口博物館 (植物)

3 展示構成

(1) 展示の目的(あいさつ文より)

本州西端に位置する山口県は、三方を海に囲まれ、東部には1300mを超える西中国山地があります。中央部には秋吉台という広大なカルスト台地もあり、様々な自然がみられます。

日本列島の植物気候帯は、亜熱帯、暖帯、温帯、亜寒帯に分けられますが、山口県では、亜熱帯も亜寒帯も見られず、暖帯と温帯のうち暖帯はおよそ海拔400mのあたりまで、温帯はおよそ海拔700mのあたりからと考えられます。

本展では、このような山口県の植物の中から、「花」をテーマに紹介します。「花」といっても実にさまざまで、美しい、かわいい花から、どこが花？これでも花？というようなものまでありますが、そんな「花」たちの中で、ここ最近の県内各地の調査で出会って(2016年4月から2017年8月まで)特に心に残った「花」を選んでいきます。

いずれも県内を巡りながら感性にもとづいて選んだ「花」なので、みなさんの好きな花や心に残った花とは異なるものも多々あると思います。しかし、今回の展示をきっかけとして一人でも多くの方が植物に興味をもったり、改めて山口県の自然の豊かさに関心をもったりしていただけると幸いです。

(2) 展示内容

本展では、山口県の植生のうち、暖帯地域としては山口県の地理的な特徴でもある海岸線に沿った地域として下関の角島から萩市笠山に至る日本海側の海岸線(A)、日本を代表する石灰岩地で人為的ではあるが広大な草地が見られる秋吉台周辺(B)、内陸部の里山から山地で暖帯の植生の特徴を示す長門峡周辺から江舟岳・塔の岩(C)の計3地域を取り上げた。温帯地域としては1000m級の山地として山頂周辺でのみ県内ではごく限られた温帯の植生の特徴を示す地点として周南市長野山(D)、岩国市寂地山(E)山口市十種ヶ峰(F)の3山を取り上げ、県内のA～Cの3地域とD～Fの3山の合わせて計6か所のそれぞれ特徴的な植物を主に紹介した。D～Fの三山については、山麓など周辺を含めての展示とした。

また観覧の際にそれぞれの場所のイメージを把握できるように、それぞれの場所で撮影した特徴的な風景画像をB2サイズ2枚で展示した。

今回は、瀬戸内海沿岸地域を含む山口県の南東部から南西部にかけては、展示スペースなどの制約のため、それらの一部をその他の地域(G)としてまとめて展示した。この地域の詳細についてはまた別の機会に示したいと考えている。

以下に、展示の具体的な内容や方法を示す。

○「なっとくんの緑のたより」(これまで発行した緑のたよりの活用+増刊号の発行)

当館では、2016年度より植物分野の来館者への情報提供として、「なっとくんの緑のたより」を発行して屋内の常設展示室と屋外のピロティに展示している(写真1・2)。

この「緑のたより」には山口県版と博物館周辺版、博物館周辺のシダ版の3種類があるが、これらのうち「山口県版」(2017年9月末までに83号発行)の中から、「花巡り」にふさわしい内容のものを厳選して55枚展示した。さらに今回の展示に向けて「山口県版増刊号」として新たに17枚を作成して、タイムリーな新しい情報として展示した。(※「なっとくん」は当館のマスコットキャラクターである。)

また、これまでに作成した「緑のたより」を常設展と同じように拡大してA3サイズにしたものをケース内に展示したが、ケース内では少し距離があり見えにくいものもあるので、ファイルに綴じて机上也にも別に展示して、幅広い年代の人でもじっくり見られるように配慮した。



写真1 「なっとくんの緑のたより」48号



写真2 「なっとくんの緑のたより」61号

○標本展示

① 実物標本展示

大切な標本を人が多数出入りする展示室で展示することはできるだけ避けたいが、本物にふれるということを重視して、これまでに当館に寄贈された標本の中から複数存在するものを中心に展示した(写真3・4)。生態をカラーで表示している「緑のたより」と同時に展示することでより興味をひくことができる種を選び、事前に燻蒸したものを1つ1つジッパー付きの袋で密閉して展示することとした。展示後はすみやかに燻蒸して収蔵室で保管している。



写真3 カタクリとエンレイソウ



写真4 ハマオモトとホソバワダン

② 標本画像展示<明治・大正時代などの貴重な標本>

当館は開館から100年を超す歴史があり、開館当時の明治時代から大正時代、あるいは昭和のころの貴重な標本を多数収蔵している。その中には、今では絶滅危惧種に指定されていたり、生育地が国立公園等に指定されたりしていて、採集することが現実的には非常に困難な全国各地の植物が含まれている。

それらの貴重な標本の中で、山口県内で今では採集が原則的には不可能な希少種の標本をいくつか紹介することにした(写真5・6・7)これらは標本保全のため実物を展示することはできないので、デジタルカメラで撮影した画像で展示することにした。



写真5 ムラサキ
(1926年 秋吉台)



写真6 オキナグサ
(1906年 秋吉台)



写真7 オオヤマレンゲ
(1972年 寂地山)

< 3点とも山口県絶滅危惧ⅠA類 >

○話題の提供「クスの森」

下関市「川棚のクスの森」は、撮影した2017年の春には特に変わった様子もなかったが、その後夏にかけて急激に樹勢が弱まり話題となった。そのことについて記した新聞記事(山口新聞 2017年9月7日発行)を許可を得て展示した。

○展示目録

表1 展示目録

山口県立山口博物館 植物分野コーナー展示
やまぐち「花」巡り ~大切にしたいやまぐちの自然~

(2017年9月13日~10月1日)

番号	絶滅危惧種山口県カテゴリー(*1)	種名	科名(*2)	科名(*3)	学名(*4)	撮影地(*5)	展示区分	緑のたより(*6)	緑のたより以外の展示物
1	2	ハマボウ	アオイ	○	Hibiscus hamabo	長門市	A	12	
2		ナツミカン	ミカン	○	Citrus natsudaidai	長門市青海島	A	3	
3	2	ハマオモト	ヒガンバナ	○	Crinum asiaticum var. japonicum	下関市角島	A	79	標本
4		ハマボッス	サクラソウ	○	Lysimachia mauritiana	下関市角島	A	増1	
5	準	ダルマギク	キク	○	Aster spathulifolius	下関市角島	A	27	
6		ホンパワダン	キク	○	Crepidiastrum lanceolatum	下関市角島	A	28	
7		ハマゼリ	セリ	○	Cnidium japonicum	下関市角島	A	29	
8		ハマニガナ	キク	○	Ixeris repens	下関市角島	A	73	

番号	絶滅危惧種山口県カテゴリー(*1)	種名	科名(*2)	科名(*3)	学名(*4)	撮影地(*5)	展示区分	緑のたより(*6)	緑のたより以外の展示物
9		ツルナ	ツルナ	ハマミズナ	<i>Tetragonia tetragonoides</i>	下関市角島	A	76	
10		ハマゴウ	クマツヅラ	シソ	<i>Vitex rotundifolia</i>	下関市角島	A	78	
11		ヤブツバキ	ツバキ	○	<i>Camellia japonica</i>	萩市	A	30	
12	1A	ムラサキ	ムラサキ	○	<i>Lithospermum erythrorhizon</i>	美祿市秋吉台	B	68	標本画像
13	1A	オキナグサ	キンボウゲ	○	<i>Pulsatilla cernua</i>	美祿市秋吉台	B	40	標本画像
14	2	アカネスゲ	カヤツリグサ	○	<i>Carex pocalisquama</i>	美祿市秋吉台	B	69	
15	2	ヒオウギ	アヤメ	○	<i>Belamcanda chinensis</i>	美祿市秋吉台	B	13	
16	2	ツチグリ	バラ	○	<i>Potentilla discolor</i>	美祿市秋吉台	B	70	
17		クララ	マメ	○	<i>Sophora flavescens</i>	美祿市秋吉台	B	増2	
18		ナンバンギセル	ハマウツボ	○	<i>Aeginetia indica</i>	美祿市秋吉台	B	22	
19		センボンヤリ	キク	○	<i>Leibnitzia anandria</i>	美祿市秋吉台	B	42	
20		ホタルカズラ	ムラサキ	○	<i>Lithospermum zollingeri</i>	美祿市秋吉台	B	41	標本画像
21		コオニユリ	ユリ	○	<i>Lilium leichtlinii</i> var. <i>tigrinum</i>	美祿市秋吉台	B	82	小型模型
22		ウツボグサ	シソ	○	<i>Prunella vulgaris</i> ssp. <i>asiatica</i>	美祿市秋吉台	B	71	
23	準	キキョウ	キキョウ	○	<i>Platycodon grandiflorus</i>	美祿市秋吉台	B	81	
24	2	ホンジャクナゲ	ツツジ	○	<i>Rhododendron metternichii</i>	萩市江舟岳	C	54	
25	2	セッコク	ラン	○	<i>Dendrobium monilliforme</i>	萩市長門峡	C	67	標本画像
26	準	キンラン	ラン	○	<i>Cephalanthera falcata</i>	萩市江舟岳	C	55	標本
27	準	キエビネ	ラン	○	<i>Calanthe sieboldii</i>	萩市塔の岩	C	増3	標本
28		ウツギ	ユキノシタ	アジサイ	<i>Deutzia crenata</i>	萩市長門峡	C	増4	
29		センダン	センダン	○	<i>Melia azedarach</i>	萩市長門峡	C	増5	
30	2	カツラ	カツラ	○	<i>Cercidiphyllum japonicum</i>	周南市長野山	D	増10	標本画像
31		ギンリョウソウ	イチヤクソウ	ツツジ	<i>Monotropastrum humile</i>	周南市長野山	D	10	
32	2	ギンラン	ラン	○	<i>Cephalanthera erecta</i>	周南市長野山	D	56	
33		ミズナラ	ブナ	○	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	周南市長野山	D	増11	標本
34		イワカガミ	イワウメ	○	<i>Schizocodon soldanelloides</i>	周南市長野山	D	58	
35		ササユリ	ユリ	○	<i>Lilium japonicum</i>	周南市長野山	D	4	
36		センブリ	リンドウ	○	<i>Swertia japonica</i>	周南市長野山	D	増13	
37		ホオノキ	モクレン	○	<i>Magnolia hypoleuca</i>	周南市長野山	D	59	
38	2	ワチガイソウ	ナデシコ	○	<i>Pseudostellaria heterantha</i>	岩国市寂地山	E	増6	
39		カタクリ	ユリ	○	<i>Erythronium japonicum</i>	岩国市寂地山	E	48	標本
40		エンレイソウ	ユリ	シュロソウ	<i>Trillium smallii</i>	岩国市寂地山	E	49	標本
41	2	タチカメバソウ	ムラサキ	○	<i>Trigonotis guilielmii</i>	岩国市寂地山	E	51	
42	準	ミヤマシキミ	ミカン	○	<i>Skimmia japonica</i>	岩国市寂地山	E	増7	
43		ナツウダイ	トウダイグサ	○	<i>Euphorbia sieboldiana</i>	岩国市寂地山	E	増8	
44	1A	オオヤマレンゲ	モクレン	○	<i>Magnolia sieboldii</i> ssp. <i>Japonica</i>	岩国市寂地山	F	61	標本画像
45	1A	トケンラン	ラン	○	<i>Cremastra unguiculata</i>	岩国市寂地山	F	63	標本画像
46	1A	シヨウキラン	ラン	○	<i>Yoania japonica</i>	岩国市寂地山	F	62	標本画像、小型模型
47	2	ツクシガシワ	ガガイモ	キョウチクトウ	<i>Cynanchum grandifolium</i>	岩国市寂地山	F	65	
48	2	オオヤマガサミ	スイカズラ	レンブクソウ	<i>Viburnum wrightii</i> var. <i>stipellatum</i>	岩国市寂地山	F	66	
49		コアジサイ	ユキノシタ	アジサイ	<i>Hydrangea hirta</i>	岩国市寂地山	F	増9	
50	1A	ミヤマムグラ	アカネ	○	<i>Galium paradoxum</i>	岩国市寂地山	F	64	
51	2	ヤマジャクヤク	ボタン	○	<i>Paeonia japonica</i>	山口市十種ヶ峰	G	44	
52		シヨウジョウガハマ	ユリ	シュロソウ	<i>Helonias orientalis</i>	山口市十種ヶ峰	G	46	標本
53		イカリソウ	メギ	○	<i>Epimedium grandiflorum</i>	山口市十種ヶ峰	G	45	
54		チゴユリ	ユリ	イヌサフラン	<i>Disporum smilacinum</i>	山口市十種ヶ峰	G	増14	標本画像
55		シヨウモンカスラ	シソ	○	<i>Meehanian urticifolia</i>	山口市十種ヶ峰	G	47	
56		サンシヨウ	ミカン	○	<i>Zanthoxylum piperitum</i>	山口市十種ヶ峰	G	増15	

番号	絶滅危惧種山口県カテゴリー(*1)	種名	科名(*2)	科名(*3)	学名(*4)	撮影地(*5)	展示区分	緑のたより(*6)	緑のたより以外の展示物
57		ヒトリシズカ	センリョウ	○	Chloranthus japonicus	山口市十種ヶ峰	G	増16	
58	1A	エヒメアヤメ	アヤメ	○	Iris rossii	防府市、下関市	H	43	
59		クスノキ	クスノキ	○	Cinnamomum camphora	下関市	H	増18	
60	1A	ミツガシワ	ミツガシワ	○	Menyanthes trifoliata	萩市、山口市、萩市、防府市	H	60	
61	2	カキツバタ	アヤメ	○	Iris laevigata	美祿市	H	1	
62		タイリンアオイ	ウマノズクサ	○	Asarum asaroides	美祿市	H	増17	大型模型
63		ウム(臥龍梅)	バラ	○	Prunus mume	柳井市	H	33	
64		ニリンソウ	キンボウゲ	○	Anemone flaccida	岩国市	H	39	標本画像
65		ヤドリギ	ヤドリギ	ビャクダン	Viscum album ssp. Coloratum	山陽小野田市	H	37	
66	1A	タシロラン	ラン	○	Epipogium roseum	周南市	H	11	標本
67		ハナショウブ	アヤメ	○	Iris ensata var. spontanea	山口市	H	3	
68		ハス(大賀ハス)	ハス	ハス	Nelumbo nucifera	山口市	H	16	
69		フジ	マメ	○	Wisteria floribunda	山口市	H	53	
70	2	ユウスゲ	ユリ	ススキノ	Hemerocallis vespertina	山口市船平山	H	80	標本
71		サンヨウアオイ	ウマノズクサ	○	Asarum hexalobum	山口市	H	増12	

- *1 絶滅危惧種：レッドデータやまぐち 山口県環境生活部自然保護課 平成14年3月発行による (展示数)
- *2 科名：エングラ体系による分類 (「緑のたより」など展示ではエングラ体系による分類を用いている) 標本など 22
- *3 APGⅢ体系による分類(○は *2と同名のもの) 緑のたより 71
- *4 学名：自然環境保全基礎調査 植物目録 修正版(環境庁,1994)に概ね従った
- *5 撮影地：希少種を含むため、原則的に市町名および著名な山名・地名のみ表示 クイズ 6
- *6 緑のたより：数字は、「なっとくんの緑のたより山口県版」の発行番号、増は「緑のたより」増刊号の番号を示す 計 99

○模型や映像展示及びクイズコーナー

展示時期が9月ということもあり社会見学が多い時期である。そのため、来館した児童生徒を含め幅広い年代層に少しでも関心をもってもらえるように、模型や映像展示、クイズコーナーを設置した。

模型では、常設展では固定して展示していた実物大の「タイリンアオイ」と初展示の縮小サイズの「ギンリョウソウ」と「ショウキラン」をターンテーブルにのせて、360°見えるようにし、少しでも動的な展示となるようにした。

映像では、静的な展示が多い植物展示の中で、数少ない動的な展示とするとともに、生育地の環境を理解してもらうためにも県内各地で撮影した動画と静止画を用意した。(静止画の内容は省略)

- ・動画撮影場所 寂地山犬戻しの滝及び山頂付近(岩国市)、秋吉台妙見原(美祿市)、十種ヶ峰山頂付近(山口市)、萩市塔の岩山頂(萩市)

クイズコーナーでは、小学校低学年でも楽しめるように、めくり式の花名あてクイズにしてわかりやすくした。また解答に花の名前だけでなくそれぞれの植物の展示場所を示して、展示を見ることでより興味が深まるようにした。

4 展示及び見学の様子

以下に、展示の様子や来館者の見学の様子を示す(写真8～13)。



写真8 コーナー展示全景



写真9 「B 秋吉台」の展示



写真10 社会見学の児童



写真11 一般の来場者



写真12 クイズに取り組む中学生



写真13 「緑のたより」のファイル

5 まとめ

小さな展示ではあったが、野外の資料調査から展示物作成、会場設営まで予想以上に苦勞した。日頃から「緑のたより」を発行して情報の収集や整理に努めていたにも関わらず、いざ展示となると伝えたいことが増える一方となり、特に野外の資料調査では花の多い春から初夏にかけて毎週のように1000m級の山や秋吉台などで調査を実施することでようやく形にすることができた。

アンケートでは、植物(花)の大きさや季節的变化など科学的な資料としてのデータも見たいという意見もあったが、色鮮やかな画像や1つ1つにテーマを添えた「緑のたより」の解説文などは全体的に好評で、狙いどおり山口県の植物を始めとして山口県の素晴らしい自然や自然

が織りなす風景を再認識したという意見が多数みられた。特に中高年層の入館者で、展示の解説を1つ1つ念入りにみられる姿が多く見られ印象的であった。

なお、野外での資料調査に同行して多大なる協力をいただいたり、標本を作製していただいたりした当館の植物サポーターの皆様、秋吉台科学博物館の荒木陽子様、また山口県植物学会の南 敦氏をはじめとしてこれまでに当館に標本を寄贈していただいた各氏に大変感謝している。この場を借りてお礼申し上げる。

今後も山口県の自然や植物に一層関心をもっていただけるように、資料調査や標本整理を進めてより充実したより科学的な展示資料を揃えていきたいと考えている。

6 参考文献

○今回展示に使用した「緑のたより」を作成するにあたり、以下の文献を参考にした。

- 阿部 正敏（著）. 1988. 葉による野生植物の検索図鑑. 誠文堂新光社. 東京
- 林 将之（解説・写真）. 2014. 樹木の葉. 山と溪谷社. 東京
- 林 弥栄（監修）. 1989. 野に咲く花. 山と溪谷社. 東京
- 林 弥栄（編）. 2011. 日本の樹木 合弁花・単子葉・裸子植物. 山と溪谷社. 東京 山と溪谷社. 東京
- 岩瀬 徹、大野啓一（著）. 2004. 写真で見る植物用語. 図書印刷. 東京
- 門田 裕一（監修）. 2013. 野に咲く花増補改訂新版. 山と溪谷社. 東京
- 門田 裕一（監修）. 2013. 山に咲く花増補改訂新版. 山と溪谷社. 東京
- 牧野富太郎（著）. 1984. 学生版原色牧野日本植物図鑑. 北隆館. 東京
- 南 敦（著）. 2014. ふるさとの花. 中村印刷. 山口
- 中沢 妙子（著）. 2014. 秋吉台で出会った花. 秋吉台エコ倶楽部. 山口
- 岡 国夫ほか（編）. 1972. 山口県植物誌. 山口県植物誌刊行会. 山口
- 奥田 重俊（編）. 1997. 日本野生植物館 小学館. 東京
- 佐川義輔、大井次三郎、北村四郎、亘理俊次、富成忠夫（編）. 1982. 日本野生植物図鑑草本Ⅰ 単子葉類・草本Ⅱ 離弁花類. 平凡社. 東京
- 佐川義輔、大井次三郎、北村四郎、亘理俊次、富成忠夫（編）. 1981. 日本野生植物図鑑草本Ⅲ 合弁花類. 平凡社. 東京
- 佐川義輔、原 寛、亘理俊次、富成忠夫（編）. 1989. 日本野生植物図鑑 木本Ⅰ・木本Ⅱ. 平凡社. 東京
- 清水矩宏、森田弘彦、廣田伸七（編・著）. 2001. 日本帰化植物写真図鑑. 全国農村教育協会. 東京
- 清水健美（編）. 2003. 日本の帰化植物. 平凡社. 東京
- 高橋 秀男他（監修）. 2001. 樹に咲く花. 山と溪谷社. 東京
- 植村 修二、勝山輝男、清水矩宏、本田光雄、森田弘彦、廣田伸七、池原直樹（編・著）. 2010. 増補改訂日本帰化植物写真図鑑第2巻. 全国農村教育協会. 東京
- 山口県野生生物保全対策検討委員会. 2002. レッドデータブックやまぐち. 山口県環境生活部自然保護課. 山口
- 矢野 興一（著）. 2012. 観察する目が変わる植物学入門. ベレ出版. 東京